

平成 31 年 1 月 22 日（火）知立リリオ・コンサートホールにて「第 34 回愛知県高等学校保健体育研究大会」が開催され、多くの県内高等学校保健体育教諭及び養護教諭が参加されました。

愛知県学校体育研究連合会高等学校部会・大野芳樹会長より挨拶の後、平成 30 年度全国及び愛知県表彰披露がありました。

開会式・大野芳樹会長の挨拶



< 愛知県学校体育優良校の表彰 >



愛知県立時習館高等学校



愛知県立三好高等学校

< 愛知県学校体育功労者の表彰 >



神谷 豊行 様 (県立名古屋西高等学校教諭)

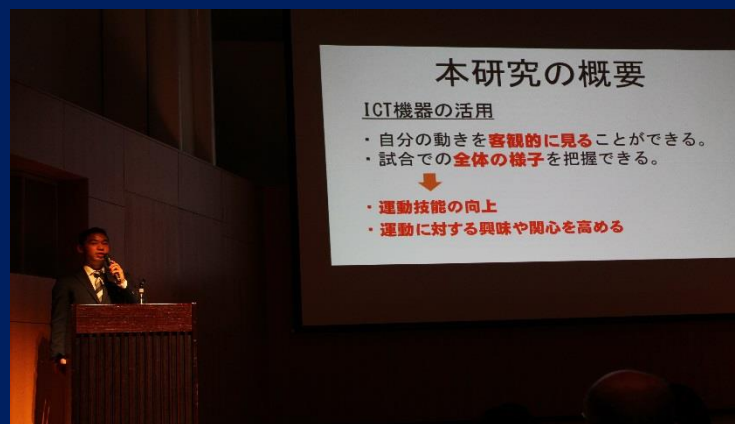
功労者・優良校を代表して、愛知県立時習館高等学校校長 川村 昌宏 様より謝辞をいただきました。



それぞれの表彰校・表彰者に対して、大会参加者から盛大な拍手が送られました。

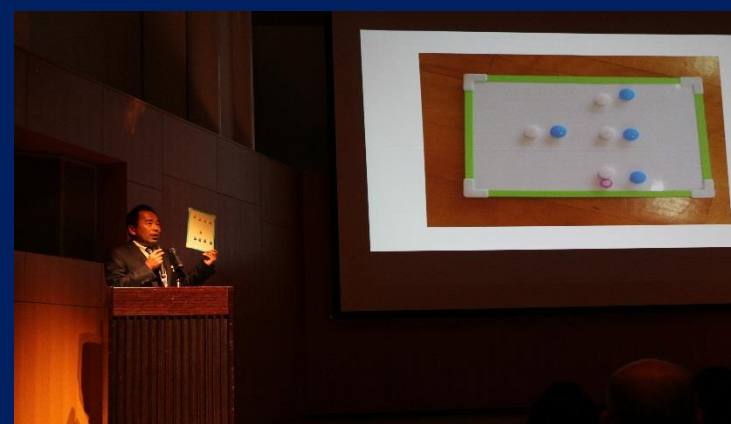
本研究大会では、3校の高等学校に2年間研究をしていただいた成果を発表していただきました。

「体育授業における ICT 機器による視覚情報の活用について」



愛知県立長久手高等学校

「豊かなスポーツライフの継続について～女子サッカーを観る観点から考える～」



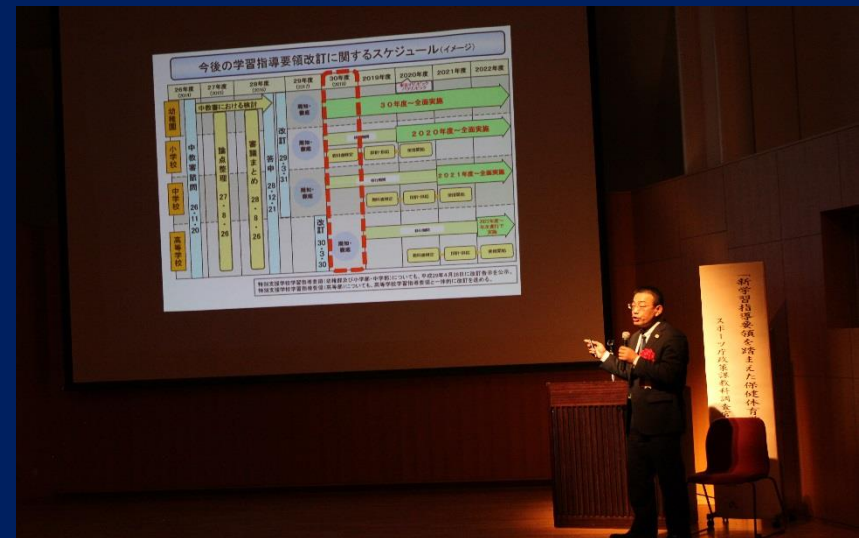
愛知県立一宮高等学校

「ICT 機器（タブレット端末）を活用した授業実践報告」



愛知県立みあい特別支援学校

その後の講演会では、講師としてスポーツ庁政策課教科調査官の高橋修一先生をお迎えして、「新学習指導要領を踏まえた保健体育学習の在り方」と題して、高等学校におけるこれから目指すべき保健授業の在り方について講演していただきました。



今回の研究大会では、保健体育の理論的研究を通して指導力の向上と本県高等学校保健体育の振興充実を図ることができました。